

# Weekly Bulletin 2019-2020



RI会長  
マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーは  
世界をつなぐ

静岡東ロータリークラブ

会長／新聞桂子 幹事／森下登志美

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 未曜日 12:30～13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
新聞桂子

## 第 2930 回例会

令和元年 12月12日 天候 晴

《司 会》 森下 登志美 君

《合 唱》 「我等の生業」

《BGM》 チャイコフスキー バレエ音楽  
「くるみ割り人形」作品 71

《ゲスト》 なし

《ビジター》 佐野 忍君(清水RC)

### 《本日のお祝い》

#### お誕生日

12月18日 由利 浩志 君  
12月21日 川崎 依子 君  
12月29日 松下真一郎君  
1月4日 望月 康弘 君  
1月4日 杉山雄吉郎君

#### 結婚記念日

12月15日 新聞 桂子君  
12月21日 高田 雅司君  
1月5日 杉山雄吉郎君

### 《ソングリーダー》

長田 きみの 君

こんにちは。

賞与の季節ですね。私は24歳の時に賞与で時計を買いましたが、失くしてしまいました。悔しかったので30歳の時にやはり賞与で時計を買ったのですが、これもつい先週失くしてしまいました。そして私にはもう賞与がないので、二度と時計は買わないようにします。



### 《会長挨拶要旨》

新聞 桂子 会長

サンタクロースってほんとにいるの

～目に見えないものを信じる心～

これはとても有名なお話なので皆さんご存じかと思いますが、今から100年以上も昔、8才の少女バージニアがニュ



ーヨークサンに手紙を書きました。

こんにちはしんぶんのおじさん。わたしは8さいです。じつは、ともだちがサンタクロースはいないんだというんです。パパは「サン新聞に聞いてごらん、新聞社の人がサンタクロースはいるというなら、たしかにいるんだろう」といいました。ほんとうのことをおしえてく

ださい。サンタクロースってほんとうにいるんでしょうか？

これに対してサン新聞は社説で答えました。

じつはね、バージニア、サンタクロースはいるんだ。

愛とか思いやりとかいたわりとかがちゃんとあるように、サンタクロースもちゃんといふし、そういうものがあふれているおかげで、人の毎日は癒やされたり潤ったりする。もしサンタクロースがいなかったら、ものすごくさみしい世の中になってしまう。中略

そもそもサンタクロースは人の目に見えない物だし、それでサンタクロースがいなくてことにもならない。ほんとのほんとのことっていうのは子どもにもおとなにもだれにも見えないものなんだよ。世界でだれも見ることがない、見ることができない不思議なことって、だれにもはっきりとはつかめないんだ。あのガラガラっておもちゃ、中をあければ、玉が音を鳴らしてるってことがわかるよね。でも目に見えない世界には、どんなに力があっても、どれだけたばになってかかっても、こじ開けることのできないカーテンみたいなものがかかっているんだ。素直な心とか、あれこれ遅くすること・したものそれから、寄り添う気持ちや誰かを好きになる心だけがそのカーテンをあけることができ、その向こうにすごくきれいで素敵なものを見たり描いたりすることができる。後略

このお話は偕成社の「サンタクロースっているんでしょうか？」という絵本で読むことができます。目に見えないものを信じるという能力をサンタクロースの存在が育てるのだそうです。子どもの空想する力、これが目に見えないものを信じる力であり、大人の世界でも詩人には目に見えないものを信じる力はもちろん必要でしょうし、科学者は目に見え

ない結果を想像するから物理学や、化学も進歩してきたのでしょう。ノーベル賞を取られた吉野さんをはじめ多くの学者が基礎研究が大事、とおっしゃるのも目に見えない物信じ、想像し、研究を続けることの大事さ大変さを思っただけでしようと思えます。

## 《会員卓話》

### 「余は此処に居る～家康公墓所の謎～」

榛葉 英二 君



静岡商工会議所の『歴史文化のまちづくり』事業の一環で「余ハ此處ニ居ル」プロジェクトがスタートしました。そしてまさに本日、静岡新聞社は一冊の本「余は此處に居る家康公墓所の謎」を出しました。家康公の亡骸は日光に移されたというのが通説で、市民アンケートでも、

久能山にいるよと思われる方が3割。7割の人が日光に移されたと思っています。結論から言えば、家康公は今でも久能山に眠っています。その根拠をお話させていただきます。

家康公は崇伝、天海、本多正純に遺言を伝えました。遺言の内容は4つ。まずは久能に埋葬しろ、続いて、葬儀は芝の増上寺で行え、3つ目は位牌を三河の大樹寺に立てろ、です。そして4つ目が一周忌を過ぎたら、日光山に小さな祠を建てて勧請せよ、という内容です。

遺言の履行ですが亡骸は久能山に葬られ、葬儀は増上寺で執り行われ、位牌は大樹寺に立てられました。

問題は1年後の勧請です。家康の神号を何にするかの神号論争が起き、幕府内で天海の権力が一気に高まりました。天海は日光山輪王寺の住職で、輪王寺と日光を救うことを悲願としていました。日光に分祀分霊である勧請だけでなく、家康の亡骸まで遷し改葬したと思わせたかった。そのために天海はいろいろと画策したのです。本当に日光に改葬されたのでしょうか。そうではない、という状況証拠を上げていきます。

三代将軍家光は家康薨去の17年後、久能を参詣して『東より照らす光のここにありてきょう詣する久能のみやしる』と詠んでいます。

家康の亡骸が久能にないのなら、家光はわざわざ久能を参詣するのでしょうか。東より照らす光とは神君家康でしょう。その光がここにあると詠んでいるわけです。

さらに家光は2年後には五重塔を奉納し、4年後には神廟を石造りの立派な宝塔に建替えているのです。家康公がここに居ないのなら、そんな無駄な事はするのでしょうか。

そして久能山東照宮には1679年の覚書が残されています。『御神体の事、当山の秘事なり』です。家康がここにいるという事を広めたくなかったということが想像できます。つまり、徳川幕府にとって久能山は聖域。神聖にして不可侵の聖地だったのです。

一方日光東照宮は、千人からの武者行列を組んで参詣することで、幕府の威厳、権威を見せつける大デモンストラレーションの場になっていたという訳です。

そして日光改葬を主導した天海僧正の謎の歌「あればある奈ヶ連ハ奈ひル 駿河なるく能奈き 神の宮遷し哉」。天海は、あれは亡骸のない宮遷しであったと伝えたかったのではないかと解釈されています。

家康公は私たちのふるさとにある久能山に眠っている、ということは、私たち市民の誇りです。静岡の小中学校でも郷土の歴史をもう少し教えるべきだと思います。郷土の歴史を学ぶ事で、この静岡を誇りに思え、しずおか愛を育み、それを積み重ねることで将来的には若者の静岡離れを少しでも減らすことが出来るかもしれないと思っています。

## 《スマイル報告》

長谷川 泰 君 今年もお世話になりました。来週のクリスマス例会に出席出来ませんので、今日のスマイルで年末ご挨拶とさせていただきます。

菊池 茂夫 君 本日は宝くじをご購入いただき有り難うございました。収益金は静岡市で社会貢献に活用されます。皆様の当選をお祈りしております。高額当せんの際は、こっそり菊池までご連絡ください。

由利 浩志 君 誕生日のお祝いありがとうございます。健康年齢が何歳か分かりませんが、がんばります。

長田きみの君 お誕生日プレゼントありがとうございます。みなさんご存知と思いますが、12月5日生まれはとても善い人が多いと昔から言い伝えられています。林田さんと私が12月5日生まれですので、よろしくお祈りします。

佐橋 徹 君 結婚記念日のお祝いに淡いピンクのシクラメンが届きました。家内が喜んで夕食時の話が弾みました。ありがとうございました。

新聞 桂子 君 結婚記念日のお花ありがとうございます。今年はどうなお花が届くのか、楽しみにしています。

高田 雅司 君 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。44回目になります。ここまできたら最後まで頑張ります。

伊藤洋一郎君 結婚記念日のお花をありがとうございます。妻に「結婚したのはいつだったっけ？」と聞いた所、「覚えていない」と言われました。なので、何年目かはわかりません。

## 《出席報告》

|       | 会員数    | 出席 | 欠席 | MU | 完全欠席 | 確定出席率  |
|-------|--------|----|----|----|------|--------|
| 12/12 | 48(47) | 31 | 16 | -  | -    | -      |
| 12/5  | 48(47) | 39 | 8  | -  | -    | -      |
| 11/28 | 48(47) | 38 | 9  | 6  | 3    | 93.62% |
| 11/21 | 47(45) | 41 | 4  | 2  | 2    | 95.56% |

(会報作成 早川 正久)